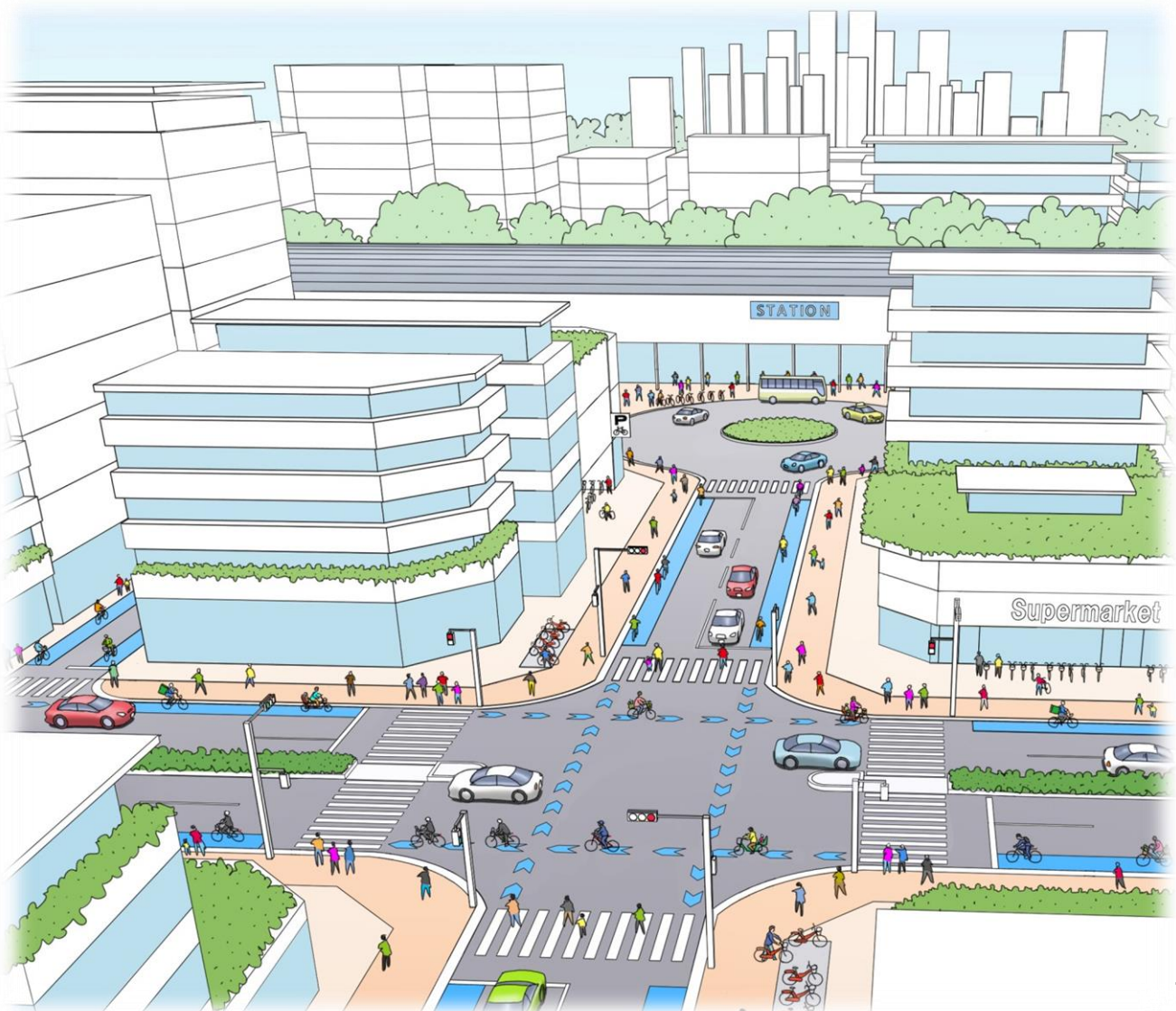


## 第2章 目指すべき将来像

国が策定した自転車活用推進計画の四つの目標を踏まえて、都の実情に応じた目指すべき将来像を示す。

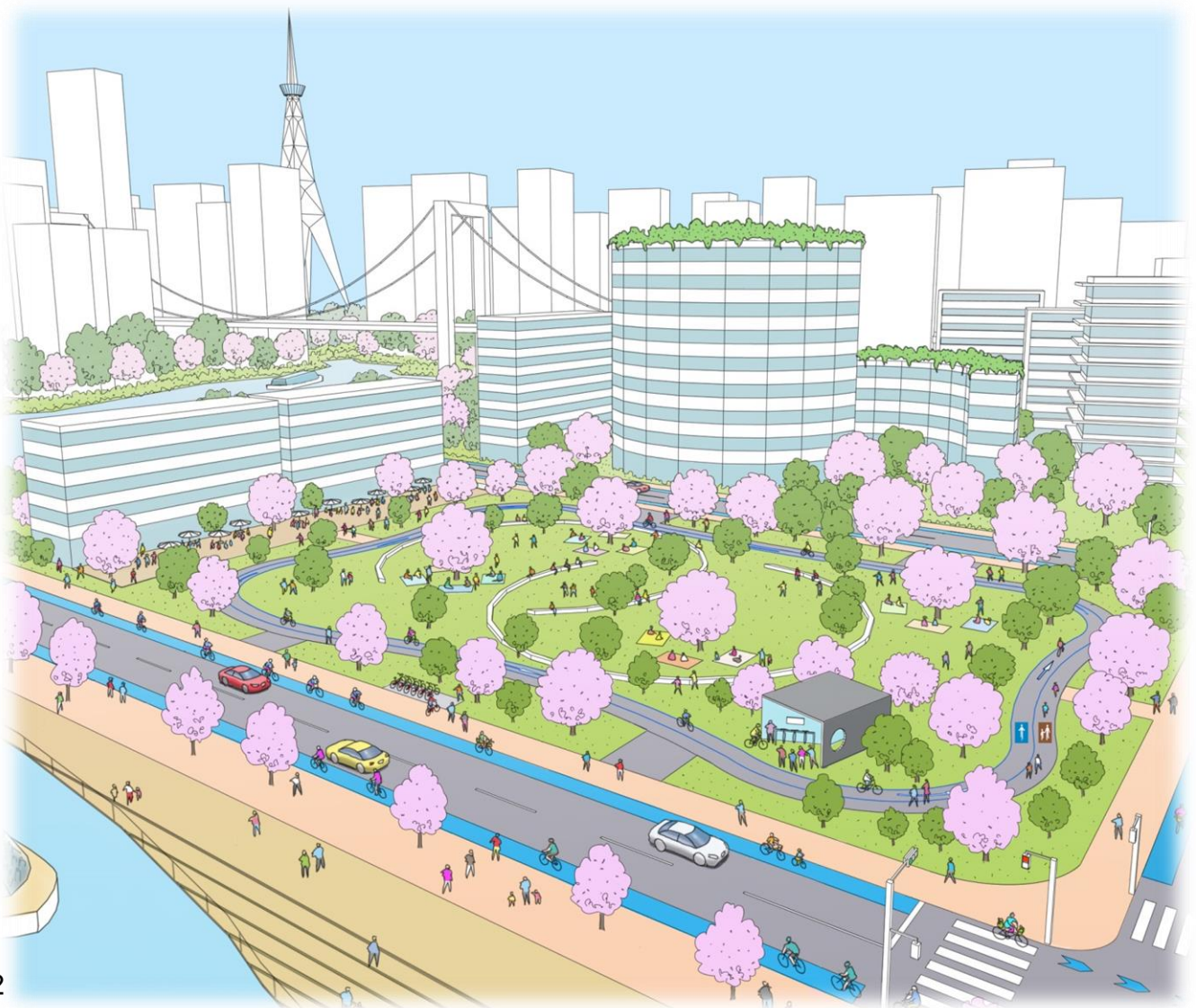
### (1) 環境形成 ～様々な場面で自転車が利用される将来～

- 地域特性に応じて公共交通との連携を図ることにより、誰もが使いやすく自由な移動を可能とする自転車環境の創出を目指します。
- 地域が互いに連携し自転車通行空間をネットワーク化することで、安全で快適な自転車利用環境の創出を目指します。
- CO<sub>2</sub>フリー社会の実現に向け、自転車利用が進み、自動車交通の依存度が低減することで、誰もが環境に配慮した移動手段を活用できる社会の実現を目指します。
- 地域を結ぶ道路を活かすため、まちづくりと連携することで、自転車通行空間の創出を図り、活発な都市活動の実現を目指します。



## (2) 健康増進 ～自転車で心身共に充実した日常生活が送れる将来～

- 公園の多目的活用が進み、四季折々の東京の魅力を体感しながらサイクリングスポーツを楽しむことができる環境の創出を目指します。
- 日常生活や余暇において、楽しみながら運動をすることにより心身の健全な発達を図るため、身近な場所におけるサイクリング環境の創出を目指します。
- ライフスタイルの多様化に合わせて、あらゆる人々が自転車を利用しやすい環境を提供することにより、住み、働き、余暇を楽しむことができる都市を目指します。



### (3) 観光振興 ～国内外の旅行者が自転車で観光を楽しめる将来～

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、自転車競技がより身近に体感できる機会の誘致促進を目指します。
- 歴史的な街並みや文化・芸術施設、水辺空間などが融合した都市を自転車で巡ることにより、東京を訪れた国内外の人々が様々な魅力を感じられることを目指します。
- 国内外から訪れる観光客がサイクリングルートを利用したエコツーリズムやサイクルスポーツを楽しめる環境の創出を目指します。
- サイクリングイベント等を通じて、自転車の魅力を広めるとともに、東京ならではの魅力を楽しめる機会の創出を目指します。



#### (4) 安全・安心 ～安全・安心に自転車が通行できる将来～

- 自転車で安全・快適に移動できるよう、歩行者・自転車・自動車がお互いの交通ルールを理解し、尊重する交通環境の形成を目指します。
- 学校、家庭、地域・社会が全体で自転車利用の安全教育を進めることで、誰もが安全・安心して自転車利用をできる環境の向上を目指します。
- 災害時にも全ての人々が応急対策活動に配慮しながら、自転車を適切に利用することができる\*社会を目指します。

